

# のり海況速報 第4報 (24-4)

平成24年11月 7日発行  
 千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 11/5：内湾(わかふさ)、：内房北部(ふさみ丸)  
 関東・東海海況速報(10/18-11/7)、東京湾口海況図(10/18-11/7)  
 拓南観測データ(10/18-11/7)、神奈川県水産技術センター(11/5)  
 モニタリングポスト(11/5：国交省関東地方整備局)

## 【水温・塩分の状況】

10月中旬頃まではほぼ横這い状態(21℃台)であった内湾の表層水温(図1)は終わり頃からの朝方の冷え込みによって降下し、現在ほぼ18℃台になっています。塩分は31~32台前半で、平年よりやや高めになっています。また、縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図2)をみると、水温は表層と底層の水温差がかなり小さくなり、塩分も表層から水深20m付近まではほぼ一様に分布しています。内房北部の表層水温も降下し、18~19℃台前半まで下がっています。

東京湾口への沖合水の流入はいまのところ小康状態となっていますが、ここに来て水温22℃台の水塊がみられていますので、この動きに注意が必要です。

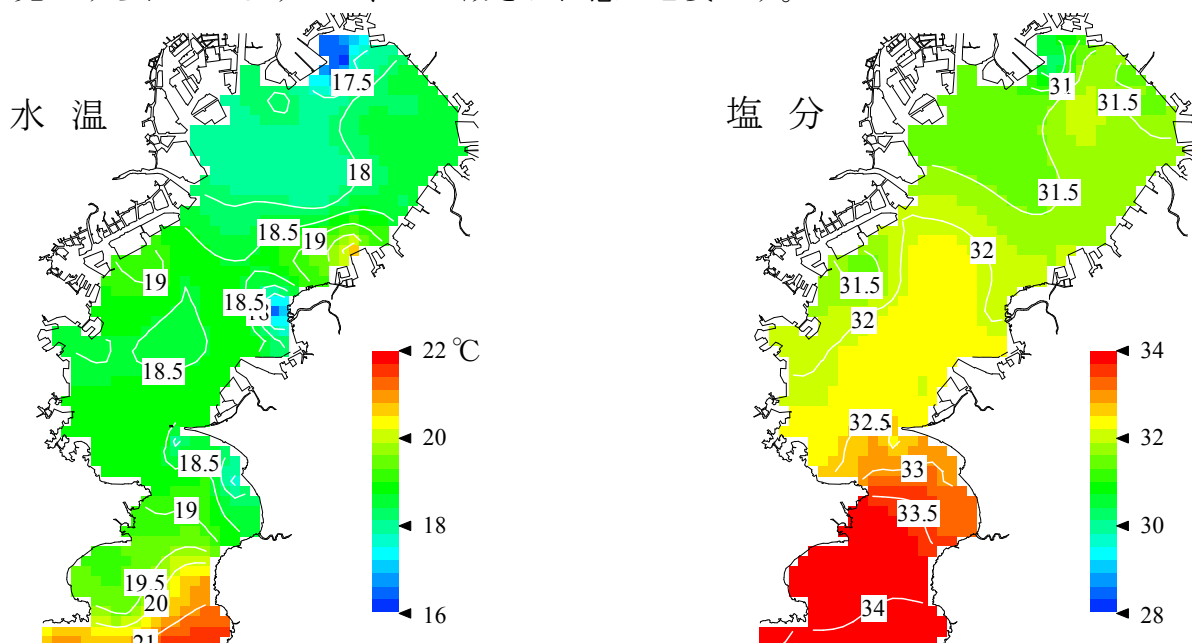


図1 表層の水温・塩分の分布(平成24年11月 5日)

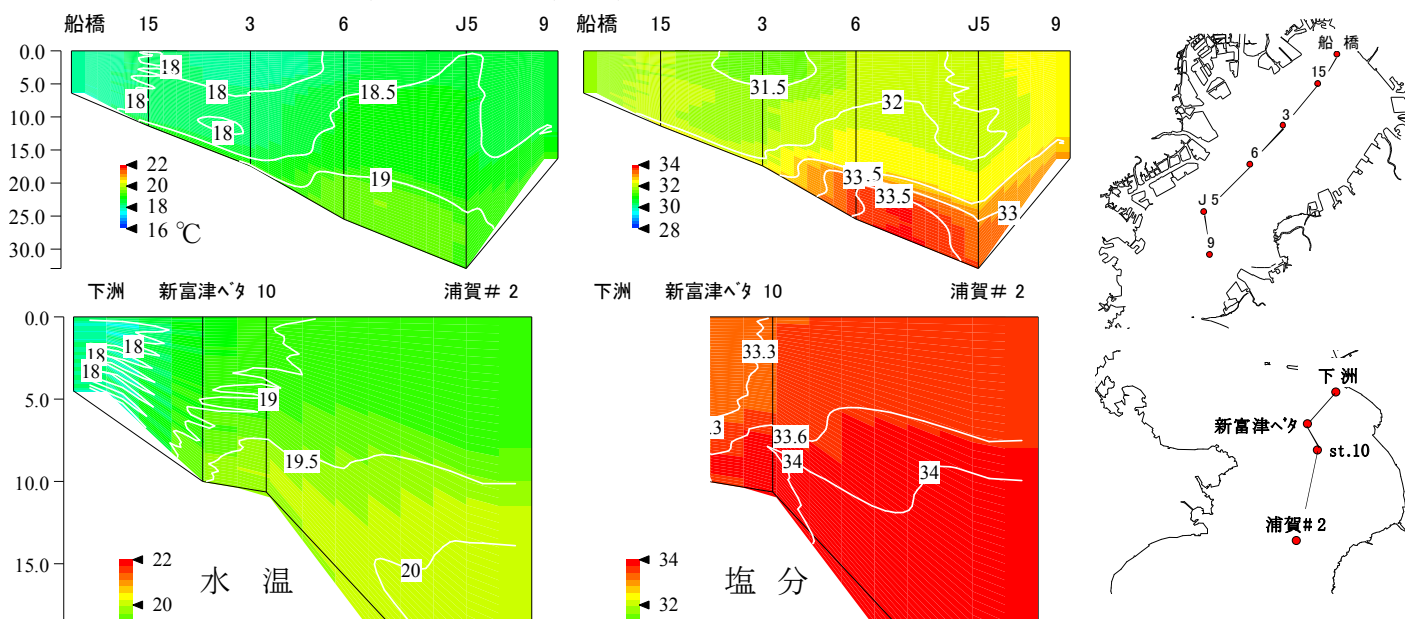


図2 断面の水温・塩分の鉛直分布(平成24年11月 5日)  
 (上：内湾)、下：内房北部、右：調査ライン)

### 【赤潮・栄養塩の状況】

赤潮は依然全域で発生していません。ここに来て、キートケロスやコスキノディスクスなどのケイ藻類がやや多くみられています。透明度は湾奥部でやや低いもののおおむね4m以上あります、水色もほぼ緑色でした。

表層の栄養塩(図3)は窒素(DIN)・リン(DIP)とも全域で十分あり、のり養殖にとって問題ない濃度となっています。

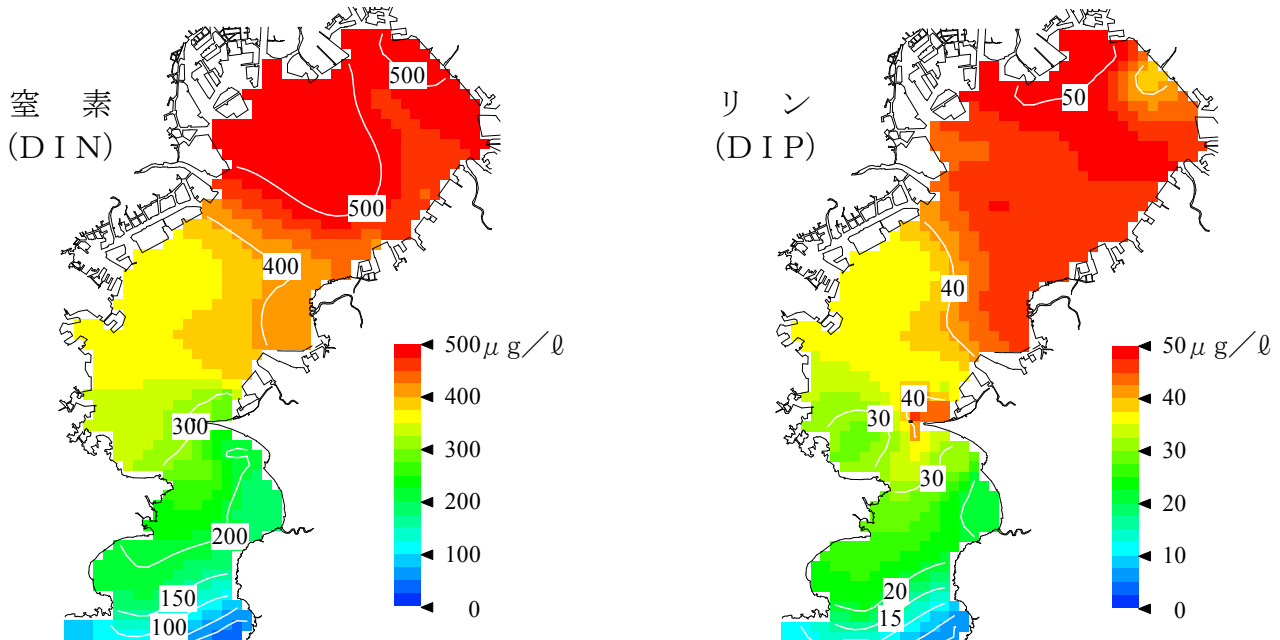


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成24年11月 5日)

#### り養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各り養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報しています。パソコンまたは携帯の検索サイトで”り養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: [http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main\\_frame.html](http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html)

携帯 : [http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile\\_forecast.html](http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html)